

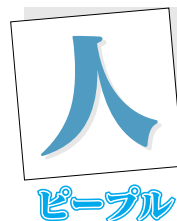
# 交流のひろば

情報をお寄せください。市役所広報広聴課 890-6642へ。

## 地域を守る使命に誇りを



「県民の警察官」に選ばれた  
内川 祐市さん(58)  
関根町



このほど「第二十八回県民の警察官」に選ばれた。現在、前橋警察署関根駐在所に勤務。二十五日の表彰式で表彰される。「年に三人だけしか選ばれない県内で最高の賞ですから、上司から受賞の連絡を聞いたとき

にはうれしかったです。候補に挙がっていたことも全く知らなかったのですが、びっくりしました。昭和三十九年の太田署勤務から四十年。この間に、八回の県警本部長賞詞をはじめ、三百十九もの賞を受けている。「叔父が消防士をしていて、その制服姿にあこがれていました。小学生のころから、消防士が警察官になりたいと思っていたので、その希望どおり今の仕事に就いたんです。交番や駐在所勤務が長く、地域警察歴は二十一年を過ぎました」

長年培った経験から、平成十四年四月には職務質問技能指導員になり、署内の若い警察官に指導も。駐在所へは単身赴任で通勤している所員とともに、日夜、地域の安全に目を光らせている。「朝は小中学生の通学パトロールから始まります。昼間は管内の各家庭を回ったり、金融機関やコンビニなどの警らをして。お巡りさんの姿が近くにあるから安心して暮らせますよ」と、地域の皆さんから声を掛けられ、期待されているこの仕事に誇りを感じるんです」

温かな笑顔からも、地域の安全な暮らしを守ろうとする強い使命感が伝わってくる。



## 明寿大学で 生きがい大切に

青柳町・勝山正夫

明寿大学は、熟年者の生きがいづくりと、生涯学習の場として中央公民館に開設されました。今年で三十六年目を迎え、現在一年生から四年生まで四百人ほどの学生が講座学習や、クラブ学習に取り組んでいます。

高齢社会における生活をより楽しく、豊かに、生き生きとしたものにするため、講座の内容は幅広く、医療、福祉、暮らしと法律、文学、歴史、スポーツ、音楽など。講師の話は、学生を飽きさせない内容で、興味が尽きず、教室はいつも緊張感と笑い声に包まれています。

明寿大学における多くの学生との出会いには、たくさん感動があります。新しい仲間や友達、わたしのこれからやりたいことや、生きがいを見つげる上で大きな財産。何度出合いがあっても、毎回「一期一会」のつもりで、大切にしようと思えます。

## まちのニュース

清里地区

## 高齢者教室で 昔を懐かしむ



九月七日、六十人が参加し、清里公民館で高齢者教室「艶歌にみる時代背景」が開催されました。思い出の歌声を聞きながら当時の社会情勢などについて学ぶ催しです。

群馬社会福祉大講師の酒井正保さんが、古い蓄音機から昭和初期の歌謡曲を流し、そのころの時代背景を分かりやすく解説します。「東京音頭」「愛染かつら」が流れるとメロディーに合わせて、口ずさんだり、手拍子をしたり、皆さんとても楽しそう。参加者は「蓄音機の音はやっぱり味があっていいね。懐かしくて昔を思い出すよ」と話していました。